

熱中症は予防できる気象災害、平年より暑い夏に向け、現場の安全を支える早期対策を法人向け「熱中症対策支援サービス」の提供を開始

公的アラートや気象 IoT センサーで危険を即時把握、現場の命を守る迅速な判断を支援

株式会社ウェザーニューズ(本社:千葉県美浜区、代表取締役社長:石橋 知博)は、今年も法人向けに熱中症対策支援サービスの提供を開始します。

今年の夏は平年より暑くなることが予想されており、早めの暑熱順化(体を暑さに慣らすこと)とともに熱中症に関わる情報が出された際の対策が欠かせません。そこで当社は、お天気アプリ「ウェザーニューズ」を法人向けに機能を拡張した「ウェザーニューズ for business」を通じ、企業の拠点やイベント会場、工事現場に欠かせない熱中症対策支援サービスを提供します。本サービスは、4月22日から気象庁と環境省で運用が開始される都道府県(※1)ごとの「熱中症警戒アラート」をプッシュ通知で受け取れるほか、独自の1kmメッシュの高解像度熱中症予測を提供します。48時間先までの1時間ごとの危険度や週間予報を詳細に把握することが可能です。これにより、花火大会や音楽フェスなどの現場でも、本部とスタッフが離れた場所からリアルタイムに情報を共有し、迅速に対策をとることができます。

さらに、よりピンポイントな安全管理の実現のため、小型で電源を入れるだけで即座に観測を開始する、高性能気象 IoT センサー「ソラテナ Pro」の設置も効果的です。現場の暑さ指数(WBGT)を1分ごとに測定し、あらかじめ設定した基準値を超えた際にはプッシュ通知やメールで一斉にお知らせします。これまででも学校の体育や部活動の実施判断、建設現場の作業員の熱中症対策など、広く活用されてきた実績を活かし、今年もあらゆる現場の安全対策を支援してまいります。

「ウェザーニューズ for business」のサービスサイトはこちら	「ソラテナ Pro」のサービスサイトはこちら
https://wxtech.weathernews.com/products/wfb/	https://wxtech.weathernews.com/products/soratena/



法人向け気象情報「ウェザーニューズ for business」で1kmメッシュの熱中症リスク予測を提供

◆法人向けの熱中症対策コンテンツで学校や屋外施設スタッフの熱中症対策を支援

～「ウェザーニュース for business」の熱中症情報～

お天気アプリ「ウェザーニュース」を法人向けに機能を拡張した「ウェザーニュース for business」では、拠点ごとの熱中症情報を把握することができます。スマホアプリでは登録拠点それぞれの熱中症リスクが、いつでも・どこでも・すぐに確認できることに加えて、プッシュ通知も受け取れます。また PC サイトでは登録拠点の熱中症リスクが地図上でひと目で確認できます。ダッシュボード機能で該当エリアの何%で熱中症のリスクが高まっているのかを一元的に把握できるようになっているため、企業の熱中症対策にお役立ただけです。

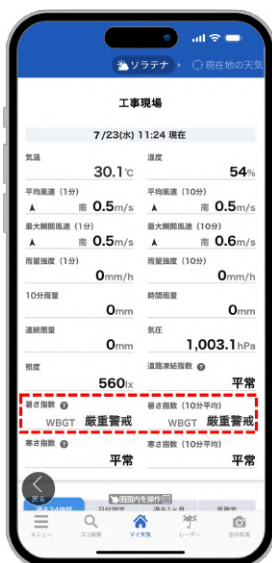
～高性能気象 IoT センサー「ソラテナ Pro」～

現地の熱中症リスクを把握したい場合には、小型の気象 IoT センサー「ソラテナ Pro」(NETIS 登録製品・気象庁認定製品)(※2,3)の活用も有効です。「ソラテナ Pro」は、気温・湿度・気圧・雨量・風向・風速・照度の 7 つの要素を 1 分ごとに観測し、確認することができます。観測した気温・雨量・風速などをもとに暑さ指数(WBGT)を算出し、アプリや Web サイトに表示する機能を備え、現地の熱中症リスクをリアルタイムで見える化し、対策を促すことができます。さらに算出した暑さ指数が設定した基準値を超えた場合には、アプリのプッシュ通知やメールでお知らせし、回転灯(表示灯)のような各種メール通知をトリガーにした企業側のシステムや機器との連携も可能となっています。



高性能気象 IoT センサー「ソラテナ Pro」

建設現場では作業中断や休憩の適切なタイミングを判断する基準として活用されているほか、学校現場でも体育や部活動の実施可否を決定する客観的な指標として導入されています。また、屋外施設や音楽フェスなどのイベント運営においても、スタッフや来場者の安全を守るため導入が加速しています。



スマホで暑さ指数を確認できる



暑さ指数のランクに応じて赤色や黄色などで表示

